



(リーディング事業の取組)

◆実務者研究チーム会議を開催

第1回：平成31年2月5日(火) (於、橿原市手をつなぐ育成会・自立支援センターかしはら北館)

第2回：平成31年3月22日(金) (於、奈良県社会福祉総合センター)



「地域生活を支える社会福祉法人による後見的支援の取り組み」をテーマに実務者研究チーム会議を開催しました。第1回会議では全国・県内の権利擁護支援の動向等について共有し、日頃から感じている課題や研究チームへの期待などについて意見を交わし、「利用者の後見人が殆ど面会に来ない」、「利用者の医療同意ができない」、「社会福祉法人が法人後見を実施すれば低廉または無料で後見支援ができる」、「法人後見実施には人材や財源が大きな課題」など、それぞれの思いを出し合いました。第2回会議では、今後の活動方針について話し合った結果、まずは具体的な活動を進めるための基礎情報として、県内の施設利用者における成年後見制度の利用等に関する実態調査を実施することになりました。今後は、具体的な調査項目等について検討・整理する予定です。<次回開催：平成31年5月で調整中>

◆まほろばレスキュー事業実践報告

奈良市圏域で支援実績がありましたので報告します。今回はレスキュー支援をきっかけに既存のサービスにつながった事例を紹介します。

実践報告①

支援日：1月24日(木)、25日(金)

相談経路：奈良市北部地域包括支援センター

支援者：奈良市圏域内参画法人

相談者：80代女性

支援内容：銀行で出金できず困っている高齢女性がおられると北部地域包括支援センターから連絡が入る。通帳や身分証明書等を持たずに銀行へ行かれたことなどから、本人に認知傾向があることがわかる。ひとり暮らしで平日は家族(県外在住)からの支援が難しいため、緊急一時支援として当該法人が実施している配食のお弁当を提供した。その後、ご本人とご家族と相談し、正式な配食サービスの利用につながった。

支援物資：配食サービスのお弁当(2日間)



実践報告②

支援日：2月8日(金)

相談経路：奈良市社会福祉協議会

支援協力：奈良市圏域内参画法人

相談者：80代男性

支援内容：「年金が入るまでの生活費に困っている」と市社協へ相談に来られる。社協フードレスキュー等で支援するも食料が尽き本人から再度市社協へ相談が入ったため、レスキュー参画法人へ物資提供の協力を依頼。当該法人の相談員が本人宅を訪問し食料品を提供した。後日、本人の担当ケアマネ、包括支援センター、社協とで情報共有した結果、ギャンブル依存の傾向があることが判り、日常生活自立支援事業で市社協が継続的な支援をすることとなった。

支援物資：非常用ごはん、パンなど計18品



【奈良市圏域参画法人】

- ・青葉仁会
- ・福寿会
- ・大和会
- ・ならやま会
- ・サンライフ
- ・奈良市和楽園
- ・万葉福祉会
- ・カトリック聖ヨゼフホーム
- ・晃宝会
- ・バルツァ事業会
- ・奈良市社会福祉協議会

◆まほろば地域食堂事業

「たかとりふれあい食堂」

【平成31年2月19日(火)開催 於、市尾公民館 参加者19名】

【平成31年3月19日(火)開催 於、市尾公民館 参加者23名】



2月は『ふれあい定食』と題して、㊟のお汁、㊟んこんのきんぴら、㊟じのフライ、㊟もとイカの煮物、そしておにぎりと盛りだくさんのメニューが提供されました。食後は、たかとり保育園園児たちとのふれあいタイム。ダンスに舞、手話合唱、そして参加者と園児でひな人形づくりをし、出来たひな人形は園児から参加者へプレゼント！笑顔がこぼれる時間になりました。



3月はちらし寿司、にゅうめん、わらび餅が提供され、食後はウクレレによるふれあいコンサートが催され、参加者の皆さんは童話や懐メロを合唱しました。次回のメニューは、竹の子ごはん、春巻き、山菜づくし(天ぷら)です。



(まほろば幸いネット会員加入状況【H31.3月31日現在】)

認証法人：90法人(施設法人69、社協21)

発行：奈良県社会福祉法人共同事業 事務局(奈良県社協 総務企画課内)

〒634-0061 橿原市大久保町320-11 TEL: 0744-29-0100/FAX: 0744-29-0101

E-mail: soumu@nara-shakyo.jp HP: <http://www.nara-shakyo.jp/publics/index/155/>